2019학년도 중등학교교사 임용후보자 선정경쟁시험

일 본 어

수험 번호 : (　　)　　**성　명 : (　　)**

제1차 시험	3교시 전공B	8문항 40점	시험 시간 90분

○ 문제지 전체 면수가 맞는지 확인하시오.
○ 모든 문항에는 배점이 표시되어 있습니다.

※ 答えはすべて日本語で書くこと。

1. 次の<A>は第2言語教育の指導法の類型に関する説明である。(1)~(3)を、用いられ始めた時期の早い順に並べかえなさい。また、<B>のⓐに当てはまる指導法の類型を<A>の(1)~(3)から1つ選び、その番号を書きなさい。さらに、ⓑに当てはまる問題点を書きなさい。[4点]

<A>

(1) 意味のあるコンテクストにおいて言語の伝達活動を行うが、その中で必要が生じたときに適宜言語形式にも学習者の注意を向けさせる。易しい文法規則でも難しい文法規則でも過剰一般化を最低限に押さえることができ、学習効果の持続も期待できると言われている。

(2) 意味のあるコンテクストにおいて言語の伝達活動を行い、学習者にはその中で個々の言語形式をみずから分析し習得していくことが期待される。理解力や流暢さを身につけさせることはできるが、正確さが身につかない、また、言語形式の学習が断片的にしか起こらず、学習速度も遅いと言われている。

(3) 文法規則を提示し、コンテクストから遊離した文法練習を行う。学習者には、個々の文法規則を一つ一つ学び、実際の言語使用場面ではそれらを統合して運用することが期待される。易しい規則の学習には最も効果的だが、その効果は多くの場合、持続しないと言われている。また、難しい規則に関しては、大規模な過剰一般化が起き、学習効果が見られないとされている。

<B>

フィードバックの方法の1つにリキャストがある。これは、相手の発話に対して、その発話意図や意味を維持しながら行う否定的フィードバックであり、(　ⓐ　)の代表的な指導技術である。リキャストには、コミュニケーションの流れを止めずに訂正できるという利点があるが、その一方で、(　　ⓑ　　)との批判もある。

2. 次の(1)、(2)それぞれの下線部ⓐとⓑの違いを、主節と従属節との条件関係から順番に説明しなさい。[4点]

(1)
ⓐ 東京に行ったら、電話してください。
ⓑ 東京に行くなら、電話してください。

(2)
ⓐ お金があれば、旅行に行けるのに。
ⓑ ここまで来れば、後は一人で帰れます。

3. 次の下線部ⓐに従って仮名を前から12番目まで書きなさい。また、ⓑに当てはまることばを書きなさい。さらに、下線部ⓒのように言える理由を、音の種類を3つあげて説明しなさい。[4点]

現代、辞書・名簿などの見出し、ものごとの配列の序次として用いられているものに「五十音順」がある。これは、5段10行の50欄に、日本語を表す仮名のほとんどを配当した仮名表である「五十音図」に基づいている。古くは「五音」などとも呼ばれ、その並べ方には様々な形があったが、今日のアカサタナハマヤラワの順が一般化したのは近世以降と見られる。

ところで、仮名配列の序次として古くから用いられていたものに、「ⓐいろは順」もある。いろは順の元となった「いろはうた」は清音の音節を重複させないですべて網羅した歌であるが、このような原理で、網羅すべき音を一回だけ使って作ったとされる唱え方には他に(　ⓑ　)もある。長い間、仮名配列の序次として優勢だったのはいろは順だったが、今日では、五十音順がいろは順をほぼ駆逐していると言える。

さて、五十音図は、音図という名にもかかわらず、ⓒ現代音韻の一覧表と言うには十分ではないものである。しかし、ある程度音韻を手がかりにした仮名表として便利なもので、語の配列の基準としての実用的な価値があり、一般に用いられている。

4. 次の文章を読み、下線部ⓐを<条件>に従って日本語に訳し、下線部ⓑを韓国語に訳しなさい。[4点]

通常、私たちは「自分っていったい何？」と自身に問うことなく生活しています。ところが、ⓐ타자와의 관계가 흔들리면 타자뿐만 아니라 자신이라는 존재에 눈을 돌리게 됩니다. そして、自分を責め、悩み苦しむのです。

また日常においては、私たちは無意識に自己の理想とする個性が他者という鏡に映し出されるよう、自己を操作しがちです。つまり、私たちは他者からの視線を常に気にしながら生きているのです。

ところが、操作された自己と操作している自己とが乖離(かいり)しすぎたり、望むような自己が他者の鏡に映らなかったりすると、不安でいたたまれなくなってしまいます。

太宰治の『人間失格』は、この自己が理想とする個性を操作しようとするあまり、操作している自己と大きく乖離してしまい、ⓑ抜け殻のような人間になってしまった姿を描いたものです。

岩本茂樹『自分を知るための社会学入門』より改変

<条件>

○ 条件表現には、「～と」を使うこと。
○ 否定表現には、「～ず」を使うこと。

5. 次の文章のⓐに当てはまることばを漢字で書きなさい。また、下線部ⓑが日本文化に及ぼした影響を、<条件>に従って説明しなさい。[4点]

和菓子は茶道と密接にかかわる。茶会で出された菓子は、元来、果物や餅、煮しめなどで、加工品ではない自然食に近いものであった。その後、西洋からカステラなどの(ⓐ)が伝わり、主な材料が砂糖になった。ⓑ禅宗寺院で出された点心が起源の饅頭や羊羹も、だんだん小豆餡が用いられるようになった。

また、茶の味をひきたてるための菓子が京都などで独自の発展を遂げ、その地方のお土産などになっている。中でも、甘い小豆餡を基本とした、美しい彩りと凝った形が特徴である京菓子は有名で、現代でもお土産などによく利用される。

<条件>

○ 禅宗が日本に伝えられた時代を含めること。
○ 茶道以外の文化を2つ含めること。

6. 次を読み、(1)~(3)を最も自然な文章になるように並べかえなさい。また、ⓐに当てはまることばを文中から探して書きなさい。さらに、下線部ⓑの理由を書きなさい。[5点]

日本は、世界でも有数の天災多発国だ。毎年台風が襲来して草木をなぎ倒し、そこここで洪水が起こる。地震や火山の噴火で山は崩れ、山火事で全山が燃えつきることもある。しかし、日本の森は、壊れても焼かれても復元する力をもっており、世界中でも最も回復力が強い森だといってよい。

(1) ところでヨーロッパの森は日本のそれとは違い、人為に対してもろくて弱い。農耕牧畜が始まって以来、ヨーロッパの森林は破壊し続けられ、ほとんどなくなってしまった。自然は人間によって支配されるべき対象であった。自然破壊の極致に至ったとき、自然は保護しなければならないという思想が生まれたのである。

(2) 日本人にとっては、自然は支配する対象ではなかった。空気は水と同じく、人間を取り巻くごく当たり前のものであった。人間の力ではびくともしない豊かな自然、それがここ二十年の間に巨大な破壊技術の進歩により、急激に破壊されはじめたのである。

(3) 豊かな自然の中で育った日本人には、それを保護しようなどという考えが生まれようもなかった。どんな災厄からも立ち直る自然、それはちっぽけな人間の力をはるかに超越した不動の存在で人間を守りこそすれ、人間に守られるものではありえなかった。大野晋氏によると、大和言葉には(ⓐ)に該当する言葉は見当たらないという。おのずからしかり、つまり、あるがままにあるものとして(ⓐ)は認識されてきた。人々は、四季の移ろいに身をゆだね、もののあわれを感じとり、いのちのはかなさに思いをいたした。

しかし、まだ日本人の心の奥には、自然は無限に豊かであるかのような印象が根を張っている。この状況が続けば、かつてのヨーロッパのように、否もっと恐ろしい形で日本の自然が破壊しつくされるであろう。そうなればもはや取り返しがつかなくなる。ⓑ今のうちに自然保護と愛好の思想を育てなければならない。

河合雅雄『子どもと自然』より改変

7. 次の文章のⓐに当てはまることばを漢字で書き、下線部ⓑを＜条件＞に従って説明しなさい。[5点]

尾崎紅葉は(　ⓐ　)という日本で最初の文学団体を結成、同人雑誌『我楽多文庫』を発刊し、明治二十年代の文壇の主流をなした。(　ⓐ　)で最初に認められたのは言文一致の先駆をなした山田美妙だったが、その退社後、紅葉は『二人比丘尼色懺悔』を成功させた。ⓑ上方文学の伝統と坪内逍遙の新しい小説理論である写実主義を継承し、(　ⓐ　)一門を率いた紅葉は、その名文とともに文壇の主流を占め、後年『金色夜叉』などを発表した。

＜条件＞

○ 時代を含めること。
○ 代表的な文芸ジャンルを2つ含めること。
○ 代表的な作者を2人含めること。

8. 次の学習指導案に沿って授業を行う場合、「学習者中心の授業の実現」という観点からどのように評価できるかを、<作成方法>に従って述べなさい。[10点]

学習段階		学習活動
導入		• 動機付け • 学習目標(友だちを紹介する文章を書くことができる)の提示
展開	ⓐ作文のモデルを提示	わたしの友だちのキム・チョルスさんを紹介します。 キムさんは、〇〇高校の1年生で、わたしと同じクラスです。部活もわたしと同じ日本文化部に入っています。私たちは、いつも一緒に勉強したり遊んだりしています。 キムさんの趣味は、日本のアニメを見ることです。また、絵を描くことが好きで、絵がとても上手です。それで、いつか日本でアニメの仕事がしたいと言っています。 キムさんは、おもしろい人です。それで、一緒にいると、とても楽しいです。また、とても親切な人で、いつもわたしを助けてくれます。 これからも、おもしろくて親切なキムさんと、仲良くしたいです。
	書くための準備	• グループでアイディアを出し合う。 • グループで書く内容(誰について何を書くか)を話し合う。
	書く	• 各自、文章を書く。
	ⓑ推敲	• 学習者同士での修正をしてから、教師による修正をする。
まとめ		• まとめ、次回の授業の予告

＜作成方法＞

○ 序論、本論、結論の構成を備え、特に本論には以下の内容を含めて述べること。
○ 下線部ⓐのような、作文のモデルを提示して「書く活動」をさせる方法が持つ長所と短所を、文型を提示して「書く活動」をさせる方法と比較して述べること。
○ 下線部ⓑにおける、「学習者同士での修正」と「教師による修正」それぞれの長所と短所を述べること。

<수고하셨습니다.>

한국교육과정평가원